

Thursday

11/22

「ありがとう」の気持ちを込めて  
市内保育園児が勤労感謝の花束贈呈



▲江副勝彦幹部派出所署長らへ感謝の花束贈呈



▲横尾市長との記念撮影

勤労感謝の日（11月23日）を前に、市内保育園児の代表11人が、多久市役所などを訪問し、日頃の感謝の気持ちを込めて花束を贈呈しました。これは子どもたちに身近で働いている人へ感謝の気持ちを育てたいと、多久市保育協議会が毎年続けているものです。園児たちは「いつも多久市をよくするために、お仕事を頑張ってくれて、ありがとうございます」と元気よくあいさつしました。

横尾市長は「これからも市をよくするために頑張ります。みなさんもお父さんお母さんに感謝の気持ちを持ってくださいね」と笑顔で応え、お礼に折り紙を手渡しました。

園児たちは、市議会、福祉課、小城警察署多久幹部派出所、多久消防署も訪問。訪問先では、かわいい来訪者に職員たちの笑顔があふれていました。

まちのわだい

Saturday

12/8

刃物への感謝を込めて  
第30回 ふいご祭り

株式会社吉田刃物（南多久町）で第30回ふいご祭りが開催されました。この祭りは、鍛冶屋など刃物を取り扱う人たちが、火の安全と仕事の繁栄を祈願するために行っているものです。年に1回の感謝祭ということもあり、この日は市内外から約800人が来場。古式鍛錬包丁造りの実演や刃砥ぎサービス、掘り出し物多数の直売会が行われました。

代表取締役の吉田健司さんは「特にハサミの刃砥ぎサービスは出来る場所も少ないので、非常に好評。より多くの人たちに吉田刃物を知っていただくためにも、これからも続けていきたい」と笑顔で話されました。



▲一つ一つ丁寧に刃物を研いでいきます



▲息を合わせて鍛錬している様子

笑顔の社会への一歩

平成30年度 多久市人権フェスタ

Sunday

12/9



▲人権標語と人権ポスター作品の表彰が行われました



▲会場には出店も並び賑わいました

12月4日から10日までの「人権週間」にあわせ、人権問題への正しい理解と認識を深めることを目的に、多久市人権フェスタ（主催：多久市・多久市教育委員会）を中央公民館で開催しました。人権フェスタでは、人権標語と人権ポスター作品の表彰、義務教育学校の取り組みを紹介しました。また、Jinjinコンサートやダンスパフォーマンスなどで会場を盛り上げ、最後は多久市在住のアーティスト、富永ボンダさんが「アートを活かした人にやさしいまちづくり」をテーマに講演されました。アートセラピーとしても活動している富永さんの、アートを作る“作業”の楽しみ方や大切さを追求する話に、参加者は聞き入っていました。